

牛尾さん(うしおさん)

[遊戯王](#)初回の記念すべき初悪役。

彼がいなければ遊戯王は始まらなかったと言っても過言ではない。

[童実野高校](#)の鬼風紀委員で、教師ですら彼には逆らえないほどであり、[城之内](#)と[本田](#)の二人にケンカで快勝するほどの腕っ節から「さん」付けで呼ばれることが多い。

遊戯王における[リアルファイト](#)最強キャラは誰か、という話題になると必ず名前を挙げられる。

[闇遊戯](#)とのゲームに敗れ、[罰ゲーム](#)「GREED」を受けた。

なお番外編の4コマも含めれば[闇のゲーム](#)における罰ゲーム回数は2回となり、これは作中最多を誇る[海馬瀬人](#)の3回に次ぐ記録である。

[真理の福音](#)によるときちんと更生したようである。

[東映版遊戯王](#)、[DM](#)、[GX](#)、[遊戯王5D's](#)とアニメ皆勤賞。

5D'sにいたっては主人公[不動遊星](#)を執拗に追い回すデュエル刑事という重要キャラクターとなり、使用するポリスモンスターも、

[OCG](#)化という破格の扱いである。

中でもエースモンスターである[ゴヨウ・ガーディアン](#)は凄まじい強さで、後に[禁止カード](#)になるまで、直前に発売された[大地の騎士](#)

[ガイアナイト](#)の存在意義をなくしてしまうほどであった。

ネオ童実野シティの治安を守るセキュリティの一員だが、当初はサテライト住人を「クズ」と見下しており、権力を振りかざしていたが、遊星やサテライトの住人たちとの交流によって改心した。

最終回ではよりもよってラストラン前の締めとして登場、眠れない遊星と共に夜を過ごし、

ストーリーが牛尾さんに始まり牛尾さんに終わったことから、スレ住民からは牛尾さんエンドと称された。

GXにおいて下の名前がTetsuであることが判明した。5D'sキャラクター紹介によれば漢字にすると哲。

前述のように、牛尾さんは[童実野町](#)時代からネオドミノシティに住み続けていると思われるが、各作品の時代設定を吟味すると牛尾さんの年齢が相当な高齢(*1)になってしまう。

(GX時代は童実野町が普通に存在していることが修学旅行イベントでわかる。つまり、モーメント事故が発生したのはGXの後の時代である。また、映画版で5D'sがGXの未来だということが明言されている。)

この辺の正確な事情(牛尾さんの実年齢、モーメント事故が発生した時の西暦など)は不明なため、どう解釈するかは人それぞれである。

(実は牛尾さんは若作りなだけ、修学旅行イベントは無かったことにする、GXと5D'sは別の世界、親子や親戚などなど。)

声優は東映版は大友龍三郎、DMは岸祐二、5D'sは落合弘治